

賀 謹

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに平成28年の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、議会の活動に対しましては、平素から温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して、厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月の市議会議員選挙において26名の議員が選出され、5月から第17期の新しい議会が始まりました。10月1日には、合併10周年記念式典が開催されましたが、合併後の市議会を振り返りますと、平成17年の合併時の議員数55人（鴻巣25人・吹上16人・川里14人）が、平成19年には30人、平成23年には26人となり、現在に至っております。合併時から現在まで在籍している議員は10人となり、この10年間で市議会の構成は大きく変わりました。

に展開され、一般質問における一問一答式の導入、インターネットによる議会中継のほか、委員会記録のホームページでの公開、代表者会議や全員協議会も原則傍聴を可能とするなど、市民に開かれた議会を目指してまいりました。

そのほか、市議会による政策的条例として、平成25年12月議会では鴻巣市歯科口腔保健の推進に関する条例を、平成26年12月議会では、県内初となる鴻巣市民のいのちと心を守る自殺対策条例を制定するなど、積極的な活動を展開しております。

さて、議会は議決機関といわれていますが、市議会の最大の役割は議決権にあると考えています。市長から議会に提出された条例案や予算案などについて、議会で審議し、議決（可決）してはじめて、市の行政はお金を使って、さまざまな事業を実施することができるからです。

市議会は、地方自治体の意思決定機関として、非常に大きな責任を担っており、私たち議員は与えられた使命を十分認識するとともに、市民の皆様の負託に応えられる議会として、お互いに切磋琢磨し、今年も一生懸命取り組んでまいります。

なお、鴻巣市議会は、昨年12月議会から、市内関新田にある、川里農業研修センターで開催されています。これは、市役所庁舎の改修に伴う移転で、本年12月議会までこちらで開催される予定です。移転期間中も、インターネットによる本会議を映像配信していますが、緑に囲まれた川里農業研修センターまで、議会を傍聴にお越しいただければ幸いに存じます。

年頭にあたりまして、市民の皆様が健康で幸多い年となりますよう、心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



◆新年のごあいさつ◆

平成28年を迎えて

鴻巣市議会議長 田中 克美



全国女性消防操法大会で、埼玉県代表の鴻巣市女性消防隊が第4位入賞（10月）



鴻巣市合併10周年記念式典を挙行。「健康づくり都市」を宣言（10月）



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会を実施し、NHKラジオ第1で全国放送（8月）



新年



◆新年のごあいさつ◆

人もまちも「健康」に

鴻巣市長 原口 和久

新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、市政の推進にあたりましては、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、鴻巣市が合併してから10年目にあたる節目の年となりました。

私は、合併後の10年間、新市の速やかな一体性の確立と3地域の均衡ある発展を市政運営の最重要目標とし、新市の玄関口である3駅の駅前広場や三谷橋大間線地下道（鴻巣宿わっぷ地下道）の整備、洪井橋の架け替え、工業団地通線の開通など交通結節点や道路網の整備、上谷総合公園や吹上パークゴルフ場、川里中央公園、ふるさと総合緑道など健康づくりの場である公園・スポーツ施設の整備、吹上・川里地域への複合施設の建設による行政・生涯学習・子育て等の拠点整備などを実施してまいりました。

さらに、こども医療費の無料化や5歳児健診の導入、病児保育の開始、こどもデイサービスセンターの開設、全小学校区への放課後児童クラブの設置、全小・中学校の耐震化工事の完了及びエアコンの設置、全小学校での自校式給食による食育の推進、図書館機能の向上など、子育て・教育の分野も重点的に事業を実施しております。

また、自治基本条例の制定やまちづくり市民会議の創設、市民活動センターの設置など、市民活動やコミュニティ活動への支援も積極的に展開しております。その成果の一つに防犯のまちづくりが挙げられ、本市の平成26年の犯罪発生率は、県内40市で最も低く、平成27年（11月末現在）は、2番目に低い状況となっております。これは、自主防犯組織を中心とした活動の成果であり、県下に誇ることでできる取り組みであると考えています。

おかげをもちまして、この10年間、質の高い市政が順調に進展し、平成27年度まちづくり市民アンケートにおいても、「鴻巣市

は住みやすいまちであるか」との設問に対し、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」「普通」と回答された方の割合は約92%に達し、市民の皆様のご理解のもと、住み良いまちづくりが、着実に進んでおります。

平成28年におきましては、これらの成果を土台とし、急速に進む人口減少及び少子高齢化など喫緊の課題に対応するため、「健康なまちづくり」を市政運営の基本として、コミュニティ活動による住民相互の交流を中心とした「心の健康づくり」、ウォーキングやラジオ体操、食生活改善などによる「体の健康づくり」、産業及び観光の振興や「コウノトリの里づくり」に代表される自然環境の保全などによる「まちの健康づくり（活力）」に全力を挙げて取り組むことにより、次世代に夢と希望をつなぐ持続可能な都市を創造してまいります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、明るく、元気で、健康な一年となりますよう、心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



スケートパークや親水広場を整備し、上谷総合公園がグランドオープン（5月）



洪井橋の架け替え工事が完了し、地域を結ぶ幹線道路が開通（3月）



利便性の高い窓口機能と災害時の拠点機能を兼ね備えた「市役所新館」がオープン（1月）

